平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	10	事業No.	235		
会計	一般会計				
事務事業名	中央新幹線用地取得事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	リニア用地課	開始	H27	終了	H33

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	全国新幹線鉄道整備法第13条第４項	
			中央新幹線（品川・名古屋間）に係る用地取得事務の委託に関する協定	

事業目的		
	対象	中央新幹線の建設に係る用地
	意図	ＪＲ東海が取得する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	用地取得の事務作業について、関係機関の事業進捗の影響を受けます。 移転対象者が抱える不安を取り除く必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	中央新幹線の建設に係る用地取得事務を行います。当該事務は飯田市土地開発公社に委託します。	事務費（人件費等）	54,230
		調査費（不動産鑑定業務等）	3,115
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	取得した用地の面積	㎡	5,000			
	移転補償した建物戸数	戸	0			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	57,345	（そ）中央新幹線用地取得事務受託事業収入
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	57,345	
	一般財源	0	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	1	1	10	3	57,345 0	中央新幹線建設関連事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 235　事業名 中央新幹線用地取得事業　　リニア用地課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	237		
事務事業名	道路事業促進同盟会参画事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	国県関連事業課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		第２次国土利用計画飯田市計画
				飯田市土地利用基本方針
	法令・例規等			道路法
				河川法
				砂防法

事業目的		
	対象	道路整備促進活動を行う同盟会等
	意図	国県道の整備促進が図られる。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	リニア・三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域の道路ネットワーク構築が求められており、要望活動の効率的運営と質的改善の必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	国県道の道路整備を図るため、各種期成同盟会（２１団体）、日本道路協会、道の日大会へ負担金を支出します。また、平成29年度に開通する、三遠南信自動車道（仮称：龍江IC－仮称：飯田東IC間）や国道256号上久堅バイパスの開通式に負担金を支出します。	同盟会等負担金	3,428
		開通式負担金	1,500
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	同盟会等	団体数	23			
	開通式	回	2			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	4,928	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	4,928	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	1	10	2	4,928 / 0	道路事業促進同盟会負担金
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 237　事業名 道路事業促進同盟会参画事業　　国県関連事業課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	241		
事務事業名	リニア関連道路整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	国県関連事業課	開始	H28	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画		第２次国土利用計画飯田市計画	
			飯田市土地利用基本方針	
	法令・例規等		道路法	

事業目的		
	対象	リニア長野県駅へアクセス道路
	意図	リニア長野県駅へのアクセス機能の向上

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	2027年開業予定のリニア長野県駅へのアクセス道路整備として、飯田市では座光寺PAへSICの設置、長野県において、国道１５３号、座光寺上郷道路、県道市場桜町線の改良事業が本年度より、本格的に動きだしており、関連する市道も含め、事業進捗を図る必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	座光寺スマートIC事業での必要な用地面積の確定及び用地買収着手、長野県事業に関係する取付市道等のルート協議を実施します。	座光寺スマートIC事業	170,000
		リニア関連道路整備事業	7,109
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	座光寺スマートIC整備	箇所	1			
	リニア関連道路整備事業	式	1			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	177,109	（国）社会資本整備総合交付金（5.5/10） （地）公共事業等（充当率90%）
	国庫支出金	93,500	
	県支出金	0	
	地方債	68,800	
	その他	0	
	一般財源	14,809	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	12	170,000 0	社会資本整備総合交付金事業費（道路整備）（座光寺SIC）
2	1	8	2	3	13	1	7,109 0	国県道対策関連道路改良事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 241　事業名 リニア関連道路整備事業　　国県関連事業課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		文化財保護法	埋蔵文化財包蔵地について、教育委員会と調整・協議	○	○
公共工事の実施	○			－	－	－	－	－	－		発注者の再資源化に要する費用適正負担	発注者の再資源化に要する費用適正負担	－	
公共工事における環境配慮設計及び実施	○			○	○	○	○	○	○			分解解体等及び建設資材廃棄物の再資源化	－	
												県知事への届出（請負金額300万円以上の工事）	－	
現場での事故防止	○			－	－	－	－	－	－					
図書の電子化	○			－	○	○	－	○	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
居住環境への影響 環境配慮設計により、周辺環境の保全						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	38	事業No.	244		
会計	一般会計				
事務事業名	県事業負担金	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	国県関連事業課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	12	リニア時代を支える都市基盤を整備する
	分野別計画		第２次国土利用計画飯田市計画	
			飯田市土地利用基本方針	
	法令・例規等		道路法	
			砂防法	

事業目的		
	対象	長野県が実施する事業費への負担金
	意図	都市計画道路事業及び土砂災害対策、用排水路の修繕費

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	長野県が行う事業に対し、一部負担金を納入する事により事業の進捗を図ります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	長野県が行う街路事業に対する地元負担金を支出します。 県街路事業（飯田中津川線、小沼飯田線、座光寺上郷道路） 　長野県が行う急傾斜対策事業及び用排水路補修事業に対する地元負担金を支出します。 県道路事業等（急傾斜：飯沼東、御殿山、青木、兼用側溝補修費：国道256号歩道整備）	県街路事業地元負担金	31,000
		県道路事業等負担金	19,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	県街路事業地元負担金	箇所	3			
	県道路事業等負担金	箇所	5			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	50,000	（地）公共事業等（充当率90%）
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	23,800	
	その他	0	
	一般財源	26,200	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	13	16	19,000 / 0	県道路事業等負担金
2	1	8	4	3	12	2	31,000 / 0	県街路事業地元負担金
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 244　事業名 県事業負担金　　国県関連事業課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況